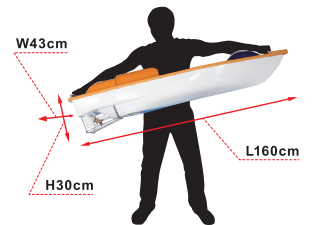


可搬ボート型マルチビーム測深機 CARPHIN-V

特徴

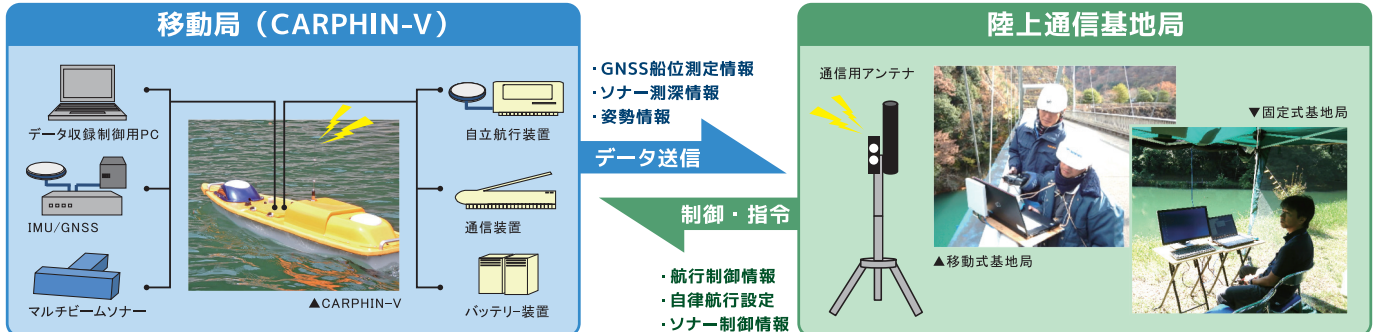
- 誰もが使えるイージーシステム (全自動制御)
- 自立航行・自動回帰機能搭載
- 安全性向上 (無人計測・陸上操作)
- 作業時間短縮・コスト削減 (作業船・構築・パッチテストが不要)
- 喫水が浅く、従来測れなかった浅瀬部の面的測深が効率的かつ経済的に可能
- 可搬性に優れ、作業船搬入ができない箇所でも計測が可能 (堰堤・池・沼、天然ダムなど)
- ICT浚渫工や環境調査など新規事業の創出

測 深 機		プラットフォーム (リモコンボート)	
周波数帯	400kHz / 600kHz	寸 法	L160cm × W43cm × H30cm
測深可能範囲	水深0.5~80m	航行速度	4.5knot
測深分解能	1cm	航続時間	120分 (バッテリー交換可)
ビーム幅	11° × 11° (0.7° × 0.7°)	自律航行	あり
スワ幅	最大150°	自動回帰	あり
測深回数	最大50回/秒	測位方法	GNSS / 自動追尾TS (予定)



計測システム

陸上通信基地からの遠隔操作により、湖上の小型無人艇へ観測指令を送り測深データを取得する



計測事例

上尾平方地区 (荒川) 埼玉県上尾市・国土省関東地方整備局
作業船の搬入及び航行が困難な現場で、測量作業の実施に制限を伴っていたが、CARPHIN-Vにより水深2~3mの浅い河道内の地形データを速やかに取得した。



宮ヶ瀬副ダム (石小屋ダム) 神奈川県相模原市・国土省関東地方整備局
作業船搬入には公園内の通過が必要。CARPHIN-Vを用いたことで、利用客の多い公園内への大型搬入車両進入を無くし、計測作業も半日程度で終了した。

